

I. 研修について

毎朝8時からの麻酔科カンファレンスに出席し、前日の麻酔症例の報告と、当日の麻酔症例の検討を行い、手術患者の全身麻酔管理を指導医とともに担当する。当科が施行する麻酔には全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎麻酔等があるが、主に全身麻酔の麻酔導入時における血管確保、マスク換気や気管挿管をはじめとする気道確保を研修する。術中は出血やその他の全身状態の変化に対応する様々な手技手段を学び、手術終了後は、患者の覚醒、抜管、退室までを担当する。麻酔科管理の手術症例は、年間約 2400 例であるが、最近は増加傾向にある。

II. 研修の到達目標

麻酔科での研修は、医師としての基本となる全身管理法を身につけることにある。手術室における麻酔管理を担当することにより、特に循環、呼吸をはじめとする全身状態の変化に対応する応用力を磨き、手技の習熟を目標とする。

III. 医師数[うち臨床研修指導医講習修了者数] (平成 29 年 3 月現在)

- ・常勤医師科 5 名 [4 名]
- ・非常勤医師 2 名

IV. 学会認定医・専門医・指導医 (平成 29 年 3 月現在)

日本麻酔科学会麻酔科認定医・(5 名)専門医(5 名)・指導医(5 名)
日本ペインクリニック学会専門医(3 名)

V. 施設認定

日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本ペインクリニック学会指定研修施設

